

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-14662(P2007-14662A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2005-201173(P2005-201173)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機前方から視認可能な位置に設けられる遊技板と、該遊技板が取り付けられる遊技機本体とを備え、遊技板の前面を遊技球を誘導するレールにより区画し、その内側に該レールにより誘導される遊技球が流下する遊技領域を形成した遊技機において、

供給される駆動電源を衝突部の直線方向の変位に変換し、その衝突部の変位により前記レールを介して前記遊技領域に遊技球を打ち出す遊技球発射装置と、

第1コンデンサ素子が設けられ、所定条件が満たされることにより該第1コンデンサ素子に充電された電源を前記駆動電源として供給する発射制御回路と、

平滑用の第2コンデンサ素子が設けられ、外部電源から供給される交流電源から直流電源を生成し、その直流電源を前記発射制御回路に供給する電源回路とを備え、

これら発射制御回路と電源回路とを、一の回路包囲用ボックスにより包囲することで発射制御兼電源装置とし、

該発射制御兼電源装置を前記遊技機本体の背面に搭載したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記発射制御回路と前記電源回路とを一の基板上に設けたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記回路包囲用ボックスに多数の放熱孔を形成したことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

払出モータの動作により遊技球を払い出す払出装置と、

前記電源回路から直流電源が供給され前記払出装置を制御する払出制御回路を前記回路包囲用ボックスとは異なる回路包囲用ボックスにより包囲してなる払出制御装置とを備え、

前記発射制御回路及び前記電源回路が設けられる基板の面方向と、前記払出制御回路が設けられる基板の面方向とが略平行となるように、前記払出制御装置を前記発射制御兼電源装置に対して重ねることでユニット化し、

当該ユニットを前記両基板の面方向が前記遊技機本体の背面の面方向と略平行となるよ

うに、該遊技機本体の背面に搭載したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記発射制御兼電源装置を前記遊技機本体側に配置し、該発射制御兼電源装置上に前記払出手制御装置を配置したことを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。